

DNS Summer Day 2024

Internet Week 2023のWebサイトで
利用しようとしたドメイン名を発端に
JPNICにおける

ドメイン名のライフサイクル管理について 考えてみた

2024年6月21日

木村泰司

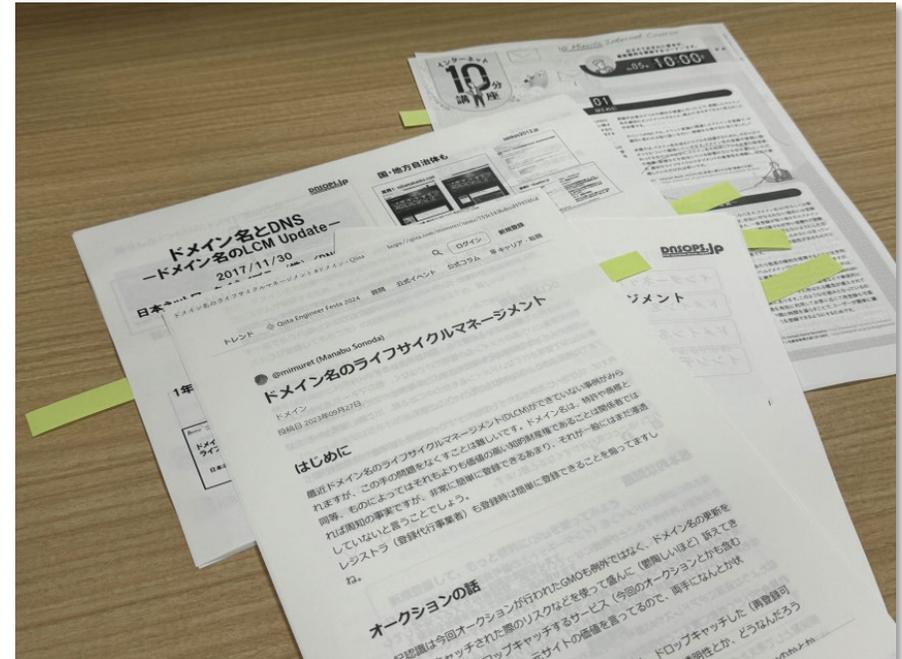


一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © Japan Network Information Center

内容

- Internet Week 2023のWebサイトで利用しようとしたドメイン名を発端にJPNICではドメイン名のライフサイクル管理に取り組んでいます。まだまだ途上かも知れませんが、そこで設けたドメイン名の管理表や業務フロー、その他、業務に落とし込んでみたことを事例としてお話いたします。



経緯と背景

- **2023年8月7日**
 - Internet Week 2023のWebサイトで利用しようと、年号の入ったドメイン名を登録
 - Webサーバ等の設置
- **2023年8月中旬から下旬にかけて**
 - このドメイン名の利用に関わるご指摘を頂く。個別のご連絡を頂く。
 - このドメイン名を利用しないものとしつつWebサーバ等の対応を急ぐ。

InternetWeek等でドメイン名の適切な管理に関する注意喚起等を行ってきたJPNICとして、ドメイン名の適切な管理を実践できていたのかを自問する状況に至る。

自らのチェック

- A. ドメイン名は把握されているか
- B. ライフサイクル管理の定めはあるか
- C. ブランドとしての認識はあるのか

A. ドメイン名は把握されているか

▶▶▶ A. ドメイン名の把握

- まず「外部公開に関わるドメイン名一覧」を作りました。
 - 目的 登録されているドメイン名を把握/管理すること
※証明書/コストに関する管理表は別にある(リンクを張る)。

■ドメイン名

管理部署 (事情が分かる人)	ドメイン名	状態	メールで 利用	備考/用途/レジストラ
技術部	...	利用中 (JPNICが 存在する 間)	利用 あり	外部向けのWebやメール等
技術部		利用中 (JPNICが 存在する 間)	利用 あり	

経緯と誰がなぜ登録したのかが分かるようになる。
現在は、後述するライフサイクルの「状態」を記載する。

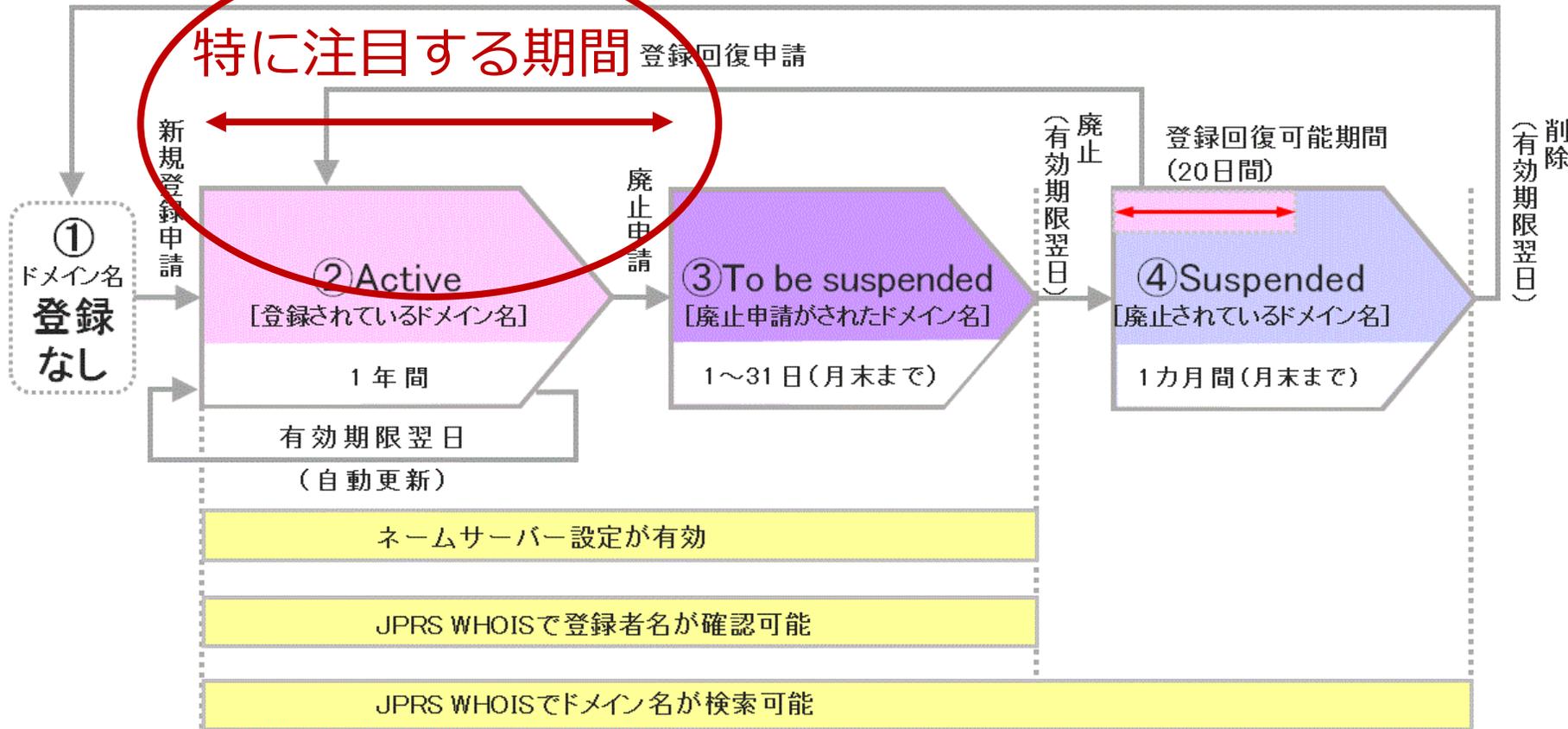
B. ライフサイクル管理の定めはあるか





B. ライフサイクル管理について

汎用JPドメイン名・都道府県型JPドメイン名のライフサイクル

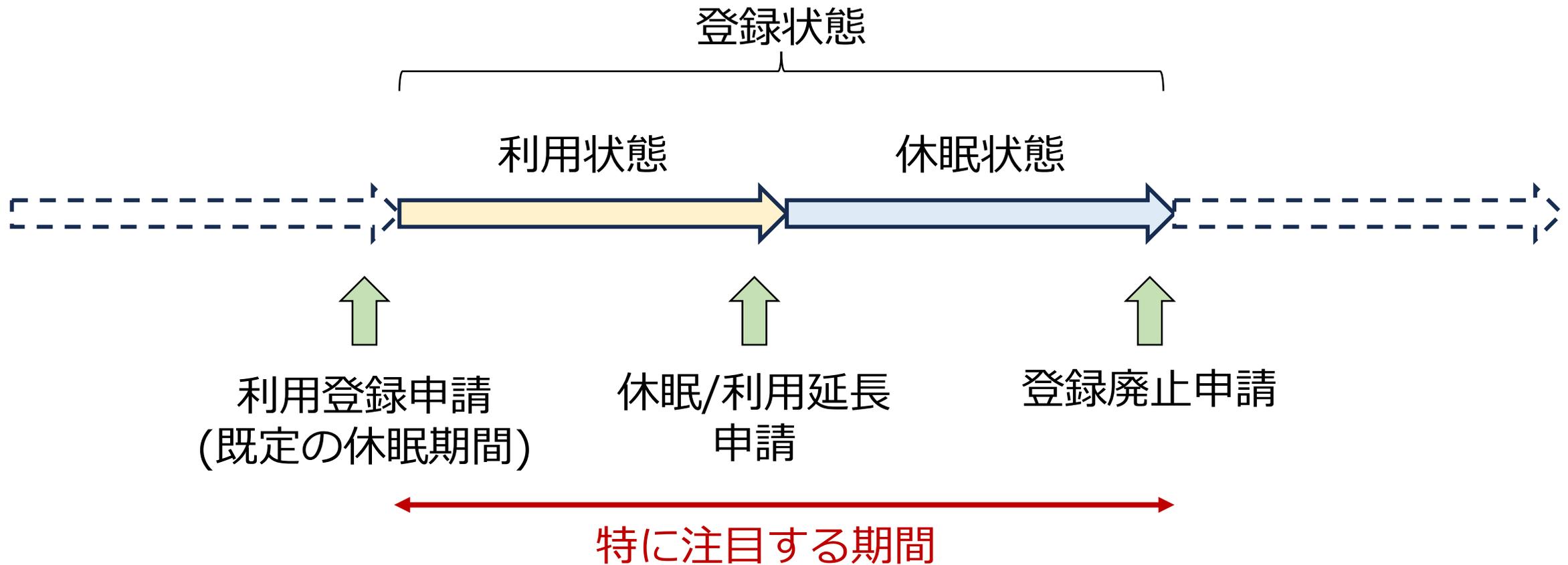


*1 各指定事業者は登録規制の範囲内でサービスを提供しているため、指定事業者ごとに申請受付期間や受付可能な申請などが異なる場合があります。

JPドメイン名のライフサイクル, JPRS
<https://jprs.jp/about/dom-rule/lifecycle/>

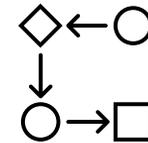
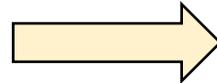


▶▶▶ B. 社内におけるドメイン名のライフサイクル



▶▶▶ B. ライフサイクル管理 ⇒ 社内ガイドラインへ

- ライフサイクル管理を社内ガイドラインで明文化する。
- その考え方に合わせた各申請を定める。
- その考え方に合わせた決裁フローを定める。



ドメイン名管理の社内ガイドライン

業務フロー・申請書式・
チェック項目

C. ブランドとしての認識はあるのか



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

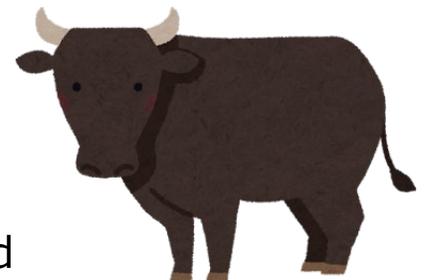
Copyright © Japan Network Information Center

▶▶▶ C. ブランドって何？ (1/2)

- ブランドとは「**焼印をつけること**」を意味する **brander** という**ノルウェーの古ノルド語から派生したもの**であるといわれている。(ブランド - Wikipediaより)
- 焼印はおそらく、家畜の盗難を防ぐために焼印を押す習慣から始まったもので、**紀元前2,700年頃**の古代エジプトの墳墓には、家畜に焼印を押す様子が描かれている。
：
現代では、**ブランディング**の概念は、**企業や製品を競合他社から差別化**し、**顧客の心に永続的な印象を残す**ためのマーケティングやコミュニケーションの手法やツールを、経営者が展開することへと拡大している。(Brand -Wikipediaより)

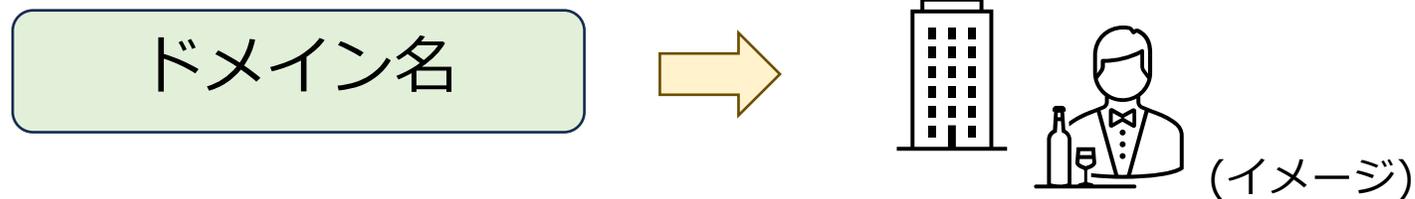
ブランド - Wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/ブランド>

Brand - Wikipedia
<https://en.wikipedia.org/wiki/Brand>



▶▶▶ C. ブランドって何？(2/2)

- ブランド（銘柄、英: brand）とは、ある財・サービスを、**他の同カテゴリーの財やサービスと区別するためのあらゆる概念。**当該財サービス（それらに関してのあらゆる情報発信点を含む）と消費者の接点（タッチポイントまたはコンタクトポイント）で接する当該財サービスのあらゆる角度からの情報と、それらを伝達するメディア特性、消費者の経験、意思思想なども加味され、結果として**消費者の中で当該財サービスに対して出来上がるイメージ総体。**（ブランド - Wikipediaより）



ブランド - Wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/ブランド>

▶▶▶ 一部の人が認識していても仕方がない

ライフサイクル管理・ブランドの考え方



社内で認識共有を図る。



全体会議

26
参加者

Zoom ミーティング Tajji Kimura の画面を表示していま... ビュー オプション

サインイン 表示

PowerPoint スライドショー - ドメイン名管理ガイドライン案 - PowerPoint

ドメイン名管理の
ガイドライン(案)

1

スライド 1/6

ミュート ビデオの開始 参加者 26 チャット 画面共有 要約 レコーディング 字幕を表示 リアクション アプリ ホワイトボード ノート 退出

Tajji Kimura

JPiC network information center



ドメイン名管理に関する申請書例

各ステップで気を付けるポイント



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © Japan Network Information Center

▶▶▶ 本業務の主なねらいとフローについて

• ねらい

- ドメイン名を一元管理する。
- 複数の部署と観点でチェックできるようにする。

• フロー

- 申請は任意のタイミング
- 一年に一回以上、状態確認を行う。
- 事業部をまたぐ会議で審議/決裁



▶▶▶ 利用登録申請 申請書例

■ 新たなドメイン名を登録するときの申請

ドメイン名 利用登録申請

ドメイン名： _____

チェック項目：

- ドメイン名の管理手続き一連を確認
- 独立したドメイン名を登録する必要性に関する確認
- 文字列に関する確認
(商標と同一or含む/他社の権利侵害等)

休眠期間：五年(デフォルト)*1

支払い：既定*2

■ チェック項目とそのチェック内容

項目	内容
ドメイン名の管理手続き一連を確認	登録から休眠、登録廃止に至るまでの手続きを行っても必要であること確認する。
独立したドメイン名を登録する必要性に関する確認	既存のサブドメインとすることで避けやすくなるリスクを踏まえたうえで新規登録の必要性を確認する。
文字列に関する確認	文字列(ラベル)には商標と同じ文字列を使う(DRP配慮)。他社の権利侵害にならないことを検索するなどしてチェックする。

*1 文字列によってはより長いことがある。

*2 支払い方法とレジストラはまとめた方がよい。請求方法や連絡方法を統一させた方が抜け漏れが起きにくい。

▶▶▶ 休眠申請 申請書例

■使ってきたドメイン名を登録した状態で休眠させるときの申請

ドメイン名 休眠申請
ドメイン名： _____
チェック項目： <input type="checkbox"/> 休眠可能(Web/メール/他) <input type="checkbox"/> ドメイン名の記載箇所を確認 <input type="checkbox"/> 記載箇所の削除計画

■チェック項目とそのチェック内容

項目	内容
休眠可能(Web/メール/他)	サービス等での利用をしないでよいことを確認する。(ドメイン名登録は継続)
ドメイン名の記載箇所の確認	将来の登録廃止に向けて、ドメイン名が記載されている箇所を把握しておく。
記載箇所の削除計画	ドメイン名の記載があると検索結果などに残ってしまうため、削除するために計画を立てておく。

▶▶▶ 利用延期申請 申請書例

■ 休眠期間に入る前に再度ドメイン名の利用を延期させるときの申請

ドメイン名 利用延期申請

ドメイン名： _____

チェック項目：

延期理由(必要性他)

延期期間：三年*3

休眠期間：五年(デフォルト)*4

■ チェック項目とそのチェック内容

項目	内容
延期理由(必要性他)	基本的に明示的な利用が確認されないドメイン名は休眠期間に入るという考え方だが、必要性に応じて延期できる。

*3 忘れにくいようにする。

*4 休眠期間を再認識する。

▶▶▶ 登録廃止申請 申請書例

■ 休眠期間のあとに登録を廃止するときの申請

ドメイン名 登録廃止申請

ドメイン名： _____

チェック項目：

- 休眠中の利用状況の確認
- ドメイン名の記載箇所の削除確認
- 休眠状態の延期の必要性確認

■ チェック項目とそのチェック内容

項目	内容
休眠中の利用状況の確認	休眠中にドメイン名が使われていなかったことを確認する。
ドメイン名の記載箇所の削除確認	ドメイン名の記載が削除されていることを確認する。
休眠状態の延期の必要性確認	休眠状態を延期する必要があるかどうかを再確認する。

▶▶▶ 社内ガイドライン目次例

- TLDについて
- 登録に利用する事業者について
- ドメイン名のラベルについて
- ドメイン名の登録者について
- ドメイン名登録の維持について
- ドメイン名の廃止について
- 参考：ブランドについて(目安)
 - 組織ブランド
 - サービス/イベントブランド

時間の都合により、ご説明を省略します。
詳しくはおたずねください。



(その他) ドメイン名管理に関する社内提案の事例

1. **ドメイン名のライフサイクル管理の重要性 認知**
 - ドロップキャッチ事例等
2. **運用部門において把握の提案**
3. **管理表を中心として申請フォームを作成**
4. **その中身の考え方を社内ガイドラインに**
 - ここから社内ガイドラインベースにする。
5. **決裁する会議でこのセットを承認**

⇒ **ドメイン名の管理を行っていく。**

▶▶▶ 参考文献

- JPNIC ニュースレター No.85 ドメイン名のライフサイクルマネジメント - JPNIC
https://www.nic.ad.jp/ja/newsletter/No85/NL85_0800.pdf
<https://www.nic.ad.jp/ja/newsletter/No85/0800.html>

インターネット
10分講座

10 Minute Internet Course

おさえておきたい基本や、最新動向を解説するコーナーです。

No. 85 10:00 min

01 はじめに

JPNICは、2002年4月に株式会社日本レジストリサービス(JPRS)にJPドメイン名の登録管理業務を移管し、現在は紛争処理に関するポリシー策定をはじめとしたJPドメイン名の公共性を担保するための業務のほか、JPドメイン名に限らないドメイン名全般に関する一般的な各種情報提供や問い合わせ対応などを行っています。

いただくお問い合わせの中で比較的数量が多いのは、ドメイン名の登録期限切れと、自身が手放したドメイン名の第三者による再登録(ドロップキャッチ)についてです。ドメイン名の登録は誰でも気軽にでき、数千円ほどの登録料で30分もあれば完了するものですが、インターネット上での住所となるものだけに、組織にとっては知的財産の一部であるという認識の下で商標といったものに準じたマネジメントをしていかなければ、予期せぬトラブルでその住所を失う事態に容易に陥ってしまい、組織のレピュテーションにも多大な

登録が必要かどうかの検討を慎重に行った上で、登録したドメイン名を適切にメンテナンスすること、廃止に至るまでをよく考えることが必要です。

かくいうJPNICでも、イベント実施に関連したドメイン名登録で、不適切と思われる取り扱いを行い、経緯を公表するに至りました。^[※1]

本稿では、ドメイン名を巡るトラブルを回避するために、そのマネジメントについて解説していきます。ドメイン名の登録や管理に関わっている方だけではなく、ドメイン名を利用している企業の経営者や商標、経理などを担当している部署の方にも目を通していただき、適切なライフサイクルマネジメントの重要性を理解し、社内で連携していただければ幸いです。



▶▶▶ 参考文献

ライフサイクル管理

- ドメイン名とDNS – ドメイン名のLCM Update – , 2017/11/30, 日本ネットワークイネイブラー(株) / DNSOPS.jp, 石田慶樹
<https://dnsops.jp/bof/20171130/ドメイン名の%20ライフサイクルマネージメント20171130.pdf>
- ドメイン名のライフサイクルマネージメント, @mimuret (Manabu Sonoda)
投稿日 2023年09月27日
<https://qiita.com/mimuret/items/753c143bdec49454fcd>
- 期限が切れた後のドメイン名に何が起こるか Gandi ニュース
<https://news.gandi.net/ja/2020/09/the-domain-name-afterlife/>
- 基礎から考えるドメイン名ライフサイクルマネージメント, 2023/11/21, C10 DNSDAY石田慶樹
(DNSOPS.jp)<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/iw/2023/proceedings/c10/c10-ishida.pdf>



参考文献

- ドメイン名の廃止にあたっての注意, 2021年3月4日, フィッシング対策協議会 技術・制度検討 WG 報告会
https://www.antiphishing.jp/news/techwg_openday2020_online_JPRS.pdf
- JPドメイン名のライフサイクル
<https://jprs.jp/about/dom-rule/lifecycle/>

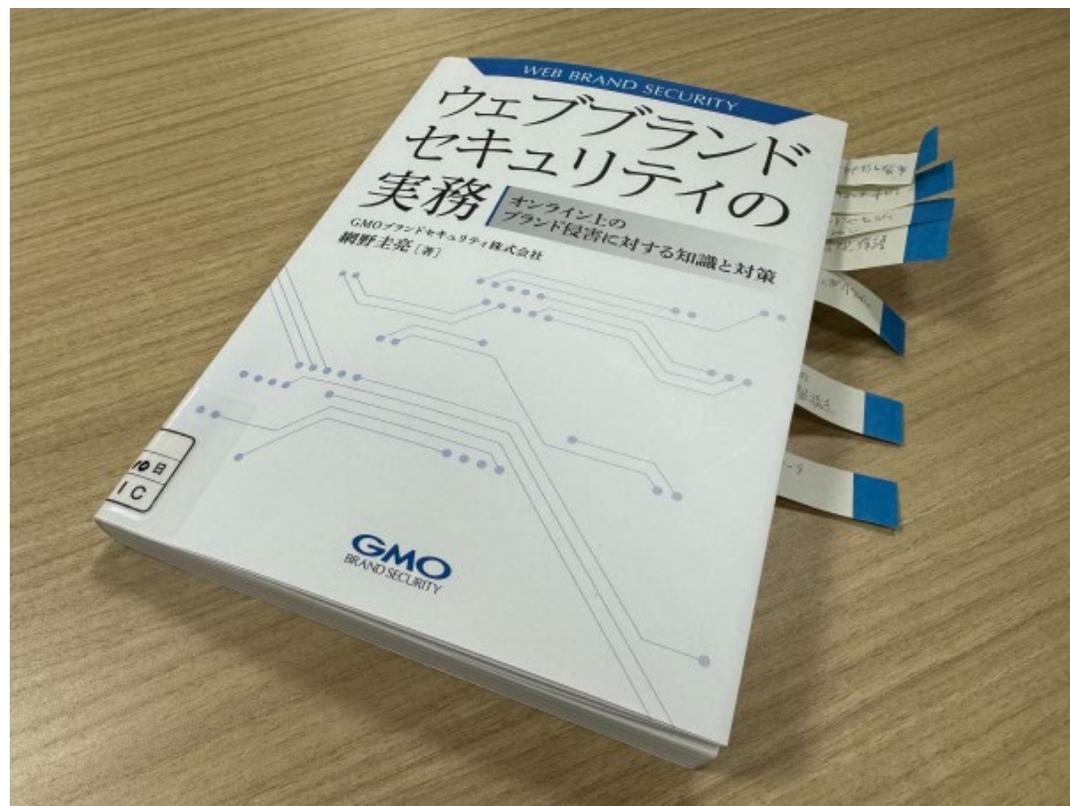
ブランド

- ブランド - Wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/ブランド>
- Brand - Wikipedia
<https://en.wikipedia.org/wiki/Brand>
- The Hot History & Cold Future of Brands, Saif Ullah Khan, Owais Mufti
https://qurtuba.edu.pk/jms/default_files/JMS/1_1/5_saif_ullah.pdf



▶▶▶ 参考文献

- ウェブブランドセキュリティの実務 - オンライン上のブランド侵害に対する知識と対策 -, GMOブランドセキュリティ株式会社 網野圭亮
出版社 : good.book (2023/12/15)
発売日 : 2023/12/15
ISBN-10 : 4909288929
ISBN-13 : 978-4909288929



おわり

ドメイン名について社内で真剣に検討する機会になりました。
ご助言くださった方々、見守ってくださった方々にお礼申し上げます。

